

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

河北新報特別縮刷版 3.11東日本大震災 1 ヶ月の記録

著者名	河北新報	発行年	2011年
出版社名	竹書房	ページ数	222ページ
値段	1,260円	ISBN	978-4812446294
コメント	あの日から1ヶ月間のリアルタイムの生記録。 見出しだけでよいので、拾って試してみてください。明日どうなるか全く分からない極限状況のなかで、現地の新聞記者たちはどんな現実に向かい、何に希望を見出そうとしたのか。時代をうつつつ、また時代をつくってゆくものでもある「報道」という仕事の役割を考えるよすがに。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
しゅまり ☆☆☆☆	社工の他の授業で震災についていろいろ調べてから読んでみたので、いろいろと考えさせられるところが多かった。			
	all	222P (60分)		2012/02/14 23:02:22
カンコーヒ ☆☆☆☆☆	去年の地震を忘れかけてる今、読んでみてよかった。 津波がすべてを壊したんだった。			
	1-222	222P (30分)		2012/02/09 14:59:05
ただ ☆☆☆☆☆	震災からもうすぐ1年たつ。忘れないため、伝えるために残しておいてね先生			
	1-222	222P (60分)		2012/02/04 02:05:00
アニマル ☆☆☆☆	テレビでしか震災ニュースを見ていなかったが、現地の新聞から伝わる情報はよりリアルで痛々しいものである。			
	all	222P (60分)		2012/02/01 22:21:45
あああああ ☆☆☆	この悲惨な事故の被災者は人間だけではなく ペットたちも被災者である、と感じた。			
		おそらく数多くの動物が死んでしまっただろう。 そのことを我々は忘れてはいけないと思う。		

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフ
ィール

掲示板

	1-222	222P (45分)		2012/01/10 19:45:49
--	-------	------------	--	---------------------

じん ☆☆☆☆	今は東日本大震災関連のニュースが減ってきていますが、現状はまだまだ被害があって何年間もかけないと復興できないことを改めて実感しました。			
	1-222	222P (30分)	p128, p156	2011/12/22 12:45:40

Albert ☆☆☆☆	東日本大震災発生後の1ヶ月間の新聞記事をまとめた本です。 はじめは震災による犠牲者一色だったのが、原子力発電所の記事となり、といった記事を見て、当時の状況を思い出させてくれます。こうやって、全体を見ると日本の復興の早さに感動しました。			
	1-221	221P (60分)		2011/11/21 13:33:44

[TOP](#) ^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

地図で読む東日本大震災

著者名	成美堂出版編集部	発行年	2011年
出版社名	成美堂出版	ページ数	95ページ
値段	1,050円	ISBN	978-4415110028
コメント	より鳥瞰的に。 ひとつひとつの地図からグラフから数字から、さて何を読みますか。 たくさんの回答が導き出せるはず。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
こはる ☆☆☆☆	日本に生まれて住んでしまった以上、地震からは逃れられないことが改めてよくわかったので、とにかく備えるしかないんだと思った。			
	1-95	95P (30分)		2012/02/13 09:06:19
カンコーヒ ☆☆☆☆	必ず来ると言われている首都直下の地震。 自分が巻き込まれたらどうしようかと、考えるきっかけになった。			
	1-95	95P (60分)		2012/02/09 14:05:00
アカシア ☆☆☆☆	東日本大震災についての情報が地図上でグラフや表を用いて載っていたのでリアルでわかりやすかったです。 首都圏直下型地震についても書いてあったり、富士山が噴火したら我が家の近くにも火山灰が2センチほど積もると書いてあったり、説得力がある分読んで怖くもなりました。。			
	1-95ページ	95P (30分)	58 - 59ページ、66 - 67ページ	2012/01/25 17:23:08
おわこん ☆☆☆☆☆	首都直下地震のハザードマップで、四ツ谷地域ヤバいんですけど((((;°Д°)))隣町が総合危険度2位だしっ！			
	1-95	95P (30分)	60-61	2011/11/27 23:35:16
Albert ☆☆☆☆☆	東日本大震災の被害状況、今の日本の状況、これからの危険性などを俯瞰的に捉えることができた。とてもわかりやすい本です。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

	1-95	95P (30分)		2011/11/21 13:25:44
--	------	-----------	--	---------------------

ほまひ ☆☆	色々言われたけど改めて見てもやはり酷い地震だったんだな、と思いました。 内容は客観的事実が中心なのは良かったのですが、要点が絞り切れていない感じで引き込まれはしなかったかなあ。			
	all	95P (40分)	なし	2011/11/17 10:12:37

坂本さん ☆☆☆☆	この本を見てたらふと、既視感を覚えた。「なんかこんな本、どっかでよんだな」 宮城沖で巨大な地震が起きるということは結構前から予測されていたし、地震に伴って原発の事故が起きることも前から議論されてなかったっけ。 前々から予測されてたことが起きちゃったんだし、しょうがないよなー。今回のデータを分析して、次同じような地震が起きたらどう対処すれば良いかを冷静に考えなきゃな。と、バイト先で生徒にテストの度に言っているセリフを思い出した。			
	1-95	95P (20分)		2011/11/16 20:38:28

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

THE DAYS AFTER 東日本大震災の記憶

著者名	石川 梵	発行年	2011年
出版社名	飛鳥新社	ページ数	0ページ
値段	2,415円	ISBN	978-4864100960
コメント	ひとりの眼を通しての記録、という芯の据わり方が貴重。 写真も映像も、あの日から私たちは、もう感覚が麻痺するくらいにたくさん消費してきた。けれども、ここにあるものは、たったひとりの写真家が、おのれのみだけを支えにこの巨大な現実と向き合おうとした真剣な記録。空撮と接写を織り交ぜた構成は、まるで彼自身が対象との距離をどう取ったらよいか、自問自答をしているかのような。どうか写真の前を通り過ぎるだけでなく、巻末にて、それぞれの写真に添えられたことばも受けとってください。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
^-^) ☆☆☆☆	カメラマン一人で撮った写真集、っていうのがミソ。 心の動きが伝わってきた。シャッター切らずにはおれなかったのだろうな…。			
	全て	0P (15分)		2012/02/14 15:45:05
てい ☆☆☆☆	何もない、ありのままの姿から何か訴えるものを感じました。 たぶん、同時並行して「被災地の本当の話～」を読んでいたのでだと思います。 併せて読むことをお勧めします。			
	all	0P (15分)		2012/02/03 02:12:44
アニマル ☆☆☆☆	衝撃的で圧倒されます。この景色を忘れたくないものですね。この震災もいつか関東大震災のよう過去のものとして忘れられてしまうのが惜しいです。			
	all	0P (20分)		2012/02/01 23:18:54
タワー ☆☆☆☆	想像を超える写真の数々。 この震災を全く知らずにこれから生まれてくる世代のためにもこういう本はなくてはいけないなと思いました。			
	all	0P (30分)		2012/01/24 12:56:49
	風景は同じ国で起こっているものと思えなくて、どうも写真じゃ感じきれないところが多すぎる気がして歯がゆい。 ただ、ところどころに出てくる人の表情、犬の表情に心を打たれた。自分も犬を飼っているが、犬			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

アップルジョン ☆☆☆	の表情は深いものだと思う。中ほどに出てくる窓越しの犬の顔からその瞳に映る情景を想像して欲しいと思う。		
	all	0P (20分)	2012/01/17 12:50:52
ああああ ☆☆☆	1枚目から衝撃的な写真でした。 私たち日本人はこの出来事を忘れてはいけない、と強く感じました。		
	全部	0P (20分)	2012/01/10 19:27:24
アカシア ☆☆☆☆	東日本大震災後のありのままの姿をとらえた写真の数々はその被害の大きさを物語っていました。生活感あふれる物が映っている写真や、現地の人々の表情からも考えさせられるものがありました。 このような現実を忘れてはいけないと思いました。		
	全部	0P (20分)	2011/12/20 23:20:57
じん ☆☆☆	震災から約8か月が経ちますが、自分は普段通りの生活を送れているので、被災地の悲惨な状況を改めて認識して、震災の傷跡はまだ残っていると思うと悲しくなりました。		
	0	0P (20分)	2011/11/21 22:40:31
Albert ☆☆☆	0ページなんですかこの本・・・。 それは置いておいて、震災の生々しい光景の数々が目に飛び込んできました。防災技術が発達しても、大自然の前には人間は為す術がなかったことを改めて感じました。震災から時間がたち、忘れかけていた衝撃、再びです。		
	全部	0P (25分)	2011/11/21 14:04:19
ちゃむ ☆☆☆	建物がひとつだけ、ぽつんと建っている、空撮された光景。 瓦礫の山は見慣れてそこまで強く何かを感じなかったが、我々がとても見慣れている椅子が瓦礫の上に倒れている小学校の教室の写真には、身近なものが失われた事実を感じた。 カモメは何事もなかったかのように日常で、彼らからこの街の残骸はどう見えているのかと思った。		
	全部	0P (20分)	2011/11/08 12:35:07

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

被災地の本当の話をしよう

著者名	戸羽 太	発行年	2011年
出版社名	ワニブックスPLUS新書	ページ数	175ページ
値段	798円	ISBN	978-4847065224
コメント	陸前高田市長。大災害のまっただなかに立つリーダーのまっすぐなトーク。 天を怨むでも、人を恨むでもなく、苛酷な自らの運命を引き受けて、こうして前に進もうとしている人が北の大地にいることに励まされます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
しゅまり ☆☆☆☆	新書なので読みやすい。けれど内容的には胸に来るものがあるって軽い気持ちでは読めない気がする。 実際に被災した人の目で見て書かれたものはやはり考えさせられます。			
	all	175P (90分)		2012/02/14 23:07:54
Elmo ☆☆☆	引いた目線じゃなく書かれてて新鮮だった 多くの人が読んで被災地のことを考えてみるべきじゃないと思った。			
	1-175	175P (90分)	all	2012/02/14 13:39:35
カンコーヒ ☆☆☆☆☆	震災系の本をたくさん見たが、全体図ばかりでした。 こうやって一人の動きに注目するのも大切ですね。			
	1-175	175P (150分)		2012/02/13 11:37:25
てい ☆☆☆☆☆	文字なのに、リアリティに満ち溢れてました。 特に市長の家族の話は読んで胸が苦しくなりました。 私たちは、とにかくこの事件を忘れてはいけません。			
	1-141	141P (90分)		2012/02/09 13:38:15
ボールボーイ	なんかずっしりと来ました。 「被災地の本当の話」という題名がピッタリだなと思った。とてもリアルな話が書かれていました。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフ
ィール

掲示板

☆☆☆☆	先日ニュースで4年以内に首都圏で地震が起こる確率が70%というのを聞いた。自分らにも悲劇が起こる可能性がある。いろいろな事を考えて準備していきたい。	1-175	175P (120分)		2012/01/25 21:24:27
アニマル ☆☆☆☆	とても悲惨な状況を綴っていて読んで気が重くなった。誰も経験したことのない状況に立ちながらも街の復興に向け歩き出す市長、市民の姿を政治家や官僚に見せてやりたい。	1-175	175P (120分)		2012/01/13 17:54:53
妄想族 ☆☆☆☆	自分も体験した地震であるから、現地の人自身にはなれないけれどこの人の悲しみや努力、熱意が伝わってきた。 しかし、自分たちもそうであるようにこの地震を体験していないこれから生まれてくる人達は他人事のように感じるんだろうな。 例えば、自分たちでいう、昔の戦争など。 これは永遠に歴史に刻まれるからといって体験した人達が伝えなくてよい問題ではないし、かといって無理矢理伝えるものでもないなあ。と思いました。永遠の課題なのかもしれないです。	1-175	175P (80分)		2012/01/10 11:41:24
あおい ☆☆☆☆	今回の地震の被災者として書かれたこの一冊はほんとに心に響きました。自分がもしこの立場にあつたら、こんな風に行動できただろうか？こういう風に頑張ってる人がいるのに何もできない自分が情けなくなった。自分も何かできることがあるんじゃないかと必死に考えてみます。	1-175	175P (80分)		2011/12/21 00:09:17
わぐなりあ ☆☆☆☆	自身も被災した市長の体験談は非常に痛切なもので、改めて今回の震災に対して他人事のように振舞ってはいけなかったと思った。政府の震災への対応が後手後手にまわり、今なお復興のための制度や予算もまとまっていない状況であり、「対岸の火事」のように考えている政治家がますます腹立たしく思った。 ただ震災の現状を知ることは必要不可欠ではあるが、この本を絶対読む必要があるかと訊かれれば他の本でもよい気がするので☆☆は辛めの3つにした。	1-175	175P (70分)		2011/12/12 14:31:21
bakeneko ☆☆☆☆	率直に被災地当事者の見解が綴られていて、非常に大きな刺激を受けることができた。原発問題などいまいち焦点を外しがちな議論が多いなか、正面から被災地の現実を受け止めることは重要なことだと思う。 また市長が復興プランとして8年という具体的な数字を出しているのが強く印象に残った。8年という長期的スパンで展望を立てることは、確かに最低限必要なことなのだろうが、現実問題としてはなかなか難しいと思う。	1-175	175P (40分)	96-101	2011/12/01 11:48:38
あき ☆☆☆☆	一人の被災者として、一人の父親として、一人の市長として震災当時体験したことが生々しく伝わってくる。市長である立場上、震災後も家族のそばにいられないことへの、父親としての気持ちの葛藤がリアルに感じられる。これは震災からそう時間がたっていない状況下で執筆したことで、当時の状況が鮮明に描けたのではないと思う。 ただ、佐藤正久参議院議員との対談では、それまでいきいきしていた筆者の主張がかすむほど、当たり障りのない内容しか話されておらず残念。対談したからには載せなきゃいけないのと思うが、いらなかったと思う。	1-175	175P (80分)		2011/11/30 21:01:48
	被災地の現状がありのままに書かれている。				

<p>おわこん ☆☆☆☆</p>	<p>被災地に一日でも早く復興して貰いたいという思いが強くなった。 しかし、復興増税などニュースや今月から就活を始める友達の話を知ると、複雑な気持ち(被災地にどれだけの金を投入?)にもなる。</p>	<p>1-105,143-175</p>	<p>138P (60分)</p>	<p>第1章(21-60)</p>	<p>2011/11/27 23:52:00</p>
<p>ただ ☆☆☆☆</p>	<p>津波の動画を見ながら読んでたんだけど、俺が夏にボランティアに行った時と震災当時じゃやっぱり全然状況がちげーんだなって感じた。 震災当時の様子と、いかしたオヤジの復興への熱い思いを綴った熱い本。</p>	<p>1-175</p>	<p>175P (180分)</p>		<p>2011/11/22 18:42:14</p>
<p>しろ ☆☆☆☆</p>	<p>テレビから伝わる被災地の状況とは違った印象を受けた。文字で記されている被災地の惨状はよりひどい印象であり、被災地が人々から忘れられつつあるという事実を悲しく感じた。また、こんなつらい状況の中で自分の妻を失ったという悲劇に遭いながらも具体的な復興プランを描き市長としての責任を全うする筆者の姿に感銘を受けた。この姿を記憶に刻み込んでほしい。</p>	<p>1-232</p>	<p>232P (120分)</p>		<p>2011/11/21 23:58:43</p>
<p>サーフ ☆☆☆☆</p>	<p>とても悲しくなりました… 妻をも失い悲しみに途方に暮れてもおかしくないのに 現実的にまちの復興について考え、向き合っていてすごいな…と思いました。</p>	<p>1-141</p>	<p>141P (90分)</p>		<p>2011/11/21 20:27:44</p>
<p>柊 ☆☆☆☆</p>	<p>涙が止まりませんでした。 ニュースで見ると一部の話ではなく、陸前高田市長の言葉で綴られた、東日本大震災の全て。自分の奥さんが亡くなったにもかかわらず、市長としての仕事を全うしようとする戸羽さんの姿に感動せずにはいられませんでした。</p>	<p>1-141ページ</p>	<p>141P (90分)</p>	<p>第1章</p>	<p>2011/11/16 12:24:00</p>
<p>Nob ☆☆☆☆</p>	<p>東日本大震災の実情を目の当たりにしました。 これだけの時間が経ったというのに、現実にはまだまだ復興は進んでいないということを知りました。 そして、私もメディアに出なくなったので、順調に復興が進んでいると勘違いしてしまっている人のうちの1人でした。改めて、メディアの影響力の大きさを実感しました。 また、陸前高田市長の私欲を抑えて公務を執行するという、果敢な行動にも感銘を受けました。</p>	<p>1-175</p>	<p>175P (120分)</p>		<p>2011/11/16 11:38:20</p>
<p>おにぎりぬ ☆☆☆☆</p>	<p>東日本大震災から約半年が経った今、少なくとも当時ほど被災地のことを気にかけていない人が多いのではないだろうか?少なくとも私はそうでした。 この本で私が特に印象に残った言葉は”被災者は24時間被災者である”です。私がたとえ被災者のことを気かけなくなってしまっても被災者は24時間いつまでも被災者である。 筆者の被災者のことを忘れないでほしいという願いがひしひしと伝わってきました。 被災者のことを絶対忘れてはいけません。</p>	<p>1-175</p>	<p>175P (60分)</p>	<p>第4章</p>	<p>2011/10/29 11:21:48</p>
<p>R2D2 ☆☆☆</p>	<p>被災地の基礎自治体のリーダーが震災を経験して抱える苦悩と復興への苦闘を綴った本。筆者は、宣伝のしすぎではないかなどと疑問視されようとも「被災地から支援を積極的に訴えかけていかなければ、支援自体ももらえない」という。厳しい現実を直視して、外聞ばかりを気にしてなどいられない、彼の覚悟がわかる一言だ。(その意味で「泣かない赤ちゃんは、ミルクをもらえない」ということわざを引用しているが、これは『戦争広告代理店』によればボスニア・ヘルツェゴビナ由来の</p>				

ものらしい。)

1-175ページ

175P (50分)

2011/10/20 17:51:30

ぶち
☆☆☆☆

東日本大震災によって壊滅的な被害を受けた陸前高田市の市長が、地震から津波に至るまでの震災当時の様子やその被害、被災地での避難生活などについて彼自身の目で見えた実態を綴り、更には被災地復興のための様々なプランを語る本です。特に飾りこともなく震災について淡々と語られていきますが、それゆえに当時の恐るべき状況の片鱗が素直に伝わってきます。

この市長さんは妻と子ども2人の家族を持つ父親であり、本書の第一章で市長としての責務と家族の身を案じる父親としての責務のジレンマに苦しめられる所、そして苦しんだ先に待っていた結末には一番心が痛みました。

3-115

112P (50分)

54-59

2011/10/10 22:51:39

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフ
ィール

掲示板

決断できない日本

著者名	ケビン メア	発行年	2011年
出版社名	文春新書	ページ数	232ページ
値段	819円	ISBN	978-4166608218
コメント	まだ記憶に新しい普天間の大迷走からトモダチ作戦まで。現場に立って戦い続けたアメリカの外交官のずばずばトークが痛いけれどこちよい。 鋭いだけでなく、ちゃんとユーモアが入っているところが、さすがタフ・ネゴシエーター（←日本外務省筋命名の彼のあだ名）。とくに188ページ「愛をささやく仕事」に爆笑。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
片道1.5時間 ☆☆☆☆☆	<p>この本における著者のメインの主張は、「日本の周辺はいまだに危険に満ちている。日本の平和を守るためには抑止力を持つことが不可欠であり、そのためには米軍基地が必要である」ということ。著者は元アメリカの外交官であるから、この主張はアメリカ政府の主張でもある。著者はこういった主張をかなりハッキリと書いてくるし、現役時代にもマスコミ向けにそういう対応をしたらしい。そりゃ叩かれるよな、と思うが、軍事と国際政治が不可分であることの認識が欠如している日本人には、これくらいハッキリと説明してくれる人が必要だと思う。その主張を受け入れるかどうかは別として、そもそもそういう考え方があることすら知らないのでは国際政治などできないはずだ（現にできてないし…）。</p> <p>「ゆずりの名人」発言への反論は重要度から見ればおまけである。第四章「アメリカは日本を手放さない」と第六章「日米同盟の内幕」を読めば、アメリカの立場から見た日米の同盟関係というのがよくわかる。必読。また、震災復興を斬った第一章「トモダチ作戦の舞台裏」も面白かった。「日米安保は非対称である。不利な条件を飲んでいるのはアメリカだ」というのは衝撃的だった。日本人は占領の名残と思っているが、アメリカから見れば日本を守るために自国の軍隊の一部（と巨額の予算）を割いているのだ。正否は別として、アメリカ側はそう思っているということを知るのは重要だ（ちなみに私はアメリカの主張に分があると思う）。</p> <p>あと、p.111の、「中国から見た日本列島」の地図のインパクトがすごい。中国から見ると、まさに日本列島が太平洋進出を阻む目の上のたんこぶになっていることが実感できる。</p>			
	全部	232P (120分)	四章、六章、p.111	2012/02/14 14:45:20
カンコーヒ ☆☆☆☆	<p>安保条約とか。 日本の外交政策って戦略的なのかなって最近思う。 何してるか知らんが。</p>			
	1-50	50P (30分)		2012/02/13 14:40:54
	日本から発信される情報はやはり日本視点なわけで。こういった海外の視点も知らないと物事は語			

<p>いち ☆☆☆</p>	<p>れないんじゃないか。ただ、この視点からの意見が100%正しいとかではなくて、色々な意見を聞いて吟味して自分の考えを持てるようになりたいと思いました。</p>	<p>全部</p>	<p>232P (100分)</p>	<p>2012/02/01 17:14:33</p>	
<p>らびっと ☆☆☆☆</p>	<p>日本の政治について、外国人の人が客観的に捉えた一冊。 文章が読みやすい。驚き。 日本あるあるが随所にあり、思わず苦笑い。 第七章「七転び八起きでいいじゃないか」が良かった。</p>	<p>187-232</p>	<p>46P (30分)</p>	<p>221-232</p>	<p>2012/01/31 02:53:04</p>
<p>わぐなりあ ☆☆☆☆</p>	<p>普天間問題などアメリカはアジア地域の平和のために、正しいかどうかはともかく、よく考えて行動していることが伝わってきた。日本の安全保障を考える上で有益な本でありおすすめ。特に日本のド素人防衛大臣。</p>	<p>1-232</p>	<p>232P (100分)</p>	<p></p>	<p>2012/01/18 01:48:17</p>
<p>nodo ☆☆☆☆☆</p>	<p>政策の選択をするための広い知識を国民全員が持つてれば国民世論が政策の選択に大きく影響を及ぼすのは納得できる。けど、そんなわけないんだから政策決定が世論に必要以上に左右されている今の現状はひどく国家運営上効率が悪いよなあ〜、と思いました。国家職員という政策のプロフェッショナルをもう少し信頼すべきだと思います。</p>	<p>1-100</p>	<p>100P (40分)</p>	<p></p>	<p>2011/12/17 15:35:00</p>
<p>ちゃむ ☆☆☆☆</p>	<p>日本の政治についての意見シリーズ。 今度はアメリカの立場から。 いろいろこの手の本を読んで、それぞれ言ってることはそれなりにスジは通っている。この本も特にそうだ。そしてこのような意見を理解しまとめる人が日本の中枢部にいないよう感じる。だから様々な意見を自分と違うなどを理由に読まない、聞かないのは良くない。まずは受け止めて耳を傾けるところから始めるべきだと思う。</p>	<p>1-232</p>	<p>232P (100分)</p>	<p>144,192,209,230</p>	<p>2011/12/12 12:50:54</p>
<p>Albert ☆☆☆</p>	<p>外国人の方がよっぽど日本を見ているなと。 日本が過剰なコンセンサス社会になっているという指摘は思わず苦笑いです。 外国人の視点から日本の防衛を話を聞いた経験がなかったので、新しい発見でした。</p>	<p>1-232</p>	<p>232P (60分)</p>	<p>222-232</p>	<p>2011/11/30 23:22:50</p>
<p>坂本さん ☆☆☆☆☆</p>	<p>著者の「ゆすり」発言問題の報道を見た時、なかなかいいジョークだなと一人感心していた事を思い出した。正直私は米軍基地移設問題に対しては日本側の対応に問題があると思っているので、こう言われても仕方ないというのが報道当時の感想だった。著者によるとそれは虚偽の報道らしく、報道した記者や関係者に対して厳しい言葉をぶつけていた。個人的な経験から私もマスコミが大嫌いだから著者に同情と共感をおぼえながら読んでいた。 本の内容としては原発事故への対応、沖縄の米軍基地移設問題、日米同盟をアメリカ側からの視点から述べたものと言っていいだろう。普段の報道だと軍隊・核アレルギーを持つ日本人や、自分達の書いた記事が売れる事しか頭にないマスコミ関係者の見解しか見ることができないので新鮮だった。 著者の意見は筋が通っていて共感できた。アメリカはどう思っているかについて知ることができて面白かったし、今の日本の課題点について考えさせられた。</p>	<p>1-232</p>	<p>232P (180分)</p>	<p></p>	<p>2011/11/19 22:09:17</p>
	<p>この本を通して日米関係の見方が少し変わった。アメリカ側から見た日米同盟の意味は日本とやや</p>				

<p>しろ ☆☆☆☆</p>	<p>異なる。そもそもアメリカと日本では戦争等に対する危機感がまったく違う。筆者は日本を「平和ボケしている」と発言までしている。戦略上から考えると沖縄の米軍基地が持つ意味も変わってくる。 これからの日本の政治に大きな疑問を投げかけてくれる本だった。</p>	<p>1-232</p>	<p>232P (150分)</p>	<p>20-32 2011/11/01 09:16:54</p>
<p>おわこん ☆☆☆☆</p>	<p>3.11の衝撃で記憶にすら残っていない人も多いのではないかとと思われる、「沖縄はゆすりの名人発言報道」で有名となった、米國務省のケビン・メア氏の著書。日本部長を解任後に、震災復興のチームに関わっていたことに驚いた。 メア氏が否定している「ゆすり発言」の真偽は私にはわからない。しかし、録音データなどの物的証拠がない中で、報道→更迭(辞任)といった流れは鉢呂前経産大臣とも重なる。一度情報が流れると覆すのは難しいと改めて感じた。</p>	<p>1-90,147-186</p>	<p>130P (65分)</p>	<p>54-66 2011/11/01 01:05:49</p>
<p>R2D2 ☆☆☆☆</p>	<p>ケビン・メア氏は政治的な立場がとてはっきりしているので、論旨が明快で読みやすい。アメリカ政府筋の人間はこのように日本の政治を見ているのか、という変な感心を持った。それでいて、日本に長年住んでいるから日本人の心理的傾向をよく知っているのだから、本書の日本政治に対する批判は踏み込んだ内容ながらかなり客観的に書かれているのではないかと、私はそう思う。</p>	<p>1-232ページ</p>	<p>232P (150分)</p>	<p>2011/10/20 18:27:42</p>
<p>あき ☆☆☆</p>	<p>内容的に言えば日本に長年いなくても、書けそうな内容。しかし、アメリカが日本をどう捉えているのかがストレートに書かれていてわかりやすい。 気になったのは抑止力の必要性を述べているところ。自身の子供のいじめの話を取り上げて、「やられたらやりかえす」を行った後に、お互いの力が抑止力をもち友好状態が生まれる。そういう抑止力が生み出す一種の緊張状態の中で世界も平和が保たれるとしている。 ケンカの場合、殴られる、殴るという行為を体験したから、そのあとに抑止力の効果が生まれる。戦争だって攻撃される、攻撃する、という行為をお互いに体験したからこそ抑止力が意味を持つ。では、戦争を体験したことのない世代が国を担う国同士の間で、軍事が果たして抑止力として機能するのか。私は、その場合に軍事が抑止力の機能をもつとは思えない。</p>	<p>1-52,110-232</p>	<p>175P (80分)</p>	<p>2011/10/19 22:08:45</p>
<p>ながーる ☆☆☆☆</p>	<p>(書く前に返してしまうと上手く感想が書けないですね・・・失敗しました。うろ覚えです。また修正します。) 感心してしまったのは、日本語で書かれているところ。 20年近く住んでいるとはいえ異国の言葉で自分の考えを新書にまとめられるなんてやはり頭がよしいのでしょうか あとは外交官からみた優れた外交官の見解がとても興味深かったです。 彼個人の意見であるとはいえ、現在の日本政府の未熟さや脆さの指摘は国民としてなんだか情けなくなっていましたよ、菅先輩!!</p>	<p>1章から4章あたり</p>	<p>100P (30分)</p>	<p>3章あたり 2011/10/13 22:22:08</p>
<p>こるく ☆☆☆☆</p>	<p>筆者は問題発言があったとして更迭された、元國務省日本部長です。 アメリカから見た日本の状況、立場を、長年の日本でのキャリアから率直かつ痛烈に指摘しています。特に日米安保条約やトモダチ作戦については、アメリカ人の捉え方がこういうものなのかと気づかせてくれます。日本はアメリカにとって非常に大切な国なのだということが、この本を通じてよく伝わってきました。 また、一連の問題発言報道にも触れていますが、ココの真相は謎です。筆者の告白が正しければ、かなり気の毒だと思います。 一見読みにくそうですが、ホットな内容で面白く読み進めることができました。</p>	<p>9-232ページ</p>	<p>224P (130分)</p>	<p>48-52ページ、141-145ページ、229-232ページ 2011/10/10 11:41:10</p>

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

官僚の責任

著者名	古賀 茂明	発行年	2011年
出版社名	PHP新書	ページ数	222ページ
値段	756円	ISBN	978-4569798059
コメント	ずっと手の届かない遠くであり、一般市民にはマス・メディアという濾過紙を通さないと安易に何うこともできない政官界の内情。中にいて初めて見えてくる、その感覚ズレした「構造」を明らかにし、このままではいけないと改革と再建を主張する古賀氏の文章には、百戦錬磨のリアリティと情熱が感じ取れ、彼の行動原理こそ「官僚としての責任」であることがありありと伝わってくるようであった。 文調も、一方的なバッシングではなく、将来をただただ憂うのでもなく、頭ごなしに否定するのでもなく、今はまだ進み方を間違えているんですよと諭すような言い方に救われる思いがした。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
Elmo ☆☆	すごい批判・・・ 関係者立のふがいなさはわかったけど、どうなんだろう			
	1-222	222P (120分)	1 - 30	2012/02/14 13:28:56
いち ☆☆	テレビでわーわー言うてた人。潔い態度や意見は好きだけど、ここまでいくと批判したいだけな感じがしてしまうよ			
	ぜんぶ	222P (120分)		2012/02/12 23:31:27
あおい ☆	批判しすぎて途中からつまんなかった。作者の言いたいことも分かんなくもないけど、自分の日記にでも書いといて下さい。			
	1-222	222P (100分)		2012/01/20 00:45:54
わぐなりあ ☆☆☆☆	過激ではあるものの、はっきりとした自分の意見を持っているという点では、今国会でわけのわからない議論を長々としている政治家より何倍もこの国のことを考えているように思った。この本で書かれていることがすべて正しいかどうか疑問だが、官僚が最大限に働いていないのは事実。筆者の官僚に対する考え方もひとつの意見として参考にすべきだと思う。			
	1-222	222P (90分)		2012/01/18 00:47:04
アニマル	批判だらけ。批判するのはいいけど後付の説明だらけなのは良くないと思う。			

☆☆☆	1-222	222P (120分)	無し	2012/01/13 17:46:53
サーフ ☆☆☆	すごい批判… (笑)			
	1-222	222P (90分)		2011/12/21 21:37:35
らびっと ☆☆	著者の自己満足が強く記された本のように感じた。結果論から語っているように思えたので読むのがしんどかった。 ただ、官僚制度の問題点などを把握できたのは良かった。			
	222	222P (120分)		2011/12/06 02:41:38
bakeneko ☆☆☆☆☆	具体的な数字が用いられず、けれど具体的なプランが語られているという点で、非常に新鮮味を感じた。結局いくら数字やグラフを並べ立てたところで、それらを剪定する主観からは逃れられないのだから、あくまで数字に頼らず観念的に主張するというやり方は、むしろ誠実であるように思われる。 そのぶん主張がいささか理想論過ぎるようにも思えるが、それが夢物語というよりも、掲げるべき目標や理念としては適切な距離感を持っているように感じられ、非常に楽しく読むことができた。			
	1-222	222P (100分)	215-216	2011/12/01 11:54:53
おわこん ☆☆☆	悪く評価すれば、ありふれた官僚制度への批判、特に新鮮味を感じられない筆者の公務員制度改革の持論といったところ。 しかし、全体の構成がよく筆者の経産省時代の体験などもあり、とてもわかりやすい。 流し読みにおすすめ。			
	1-222	222P (100分)	第3章(109-141)	2011/11/27 23:23:28
しろ ☆☆☆☆	官僚と政治家の腐敗、日本の抱える問題と冒頭から4章まで鬱鬱とした話が続き最後の5章で痛みを伴う解決策の提案。日本がこれほどまでに危機的な状況にあるのかと情けなく思う。 この官僚と政治家の問題は当人では解決できず、政治に信頼を置くことのできない今こそが国民の強い意志が必要であることを痛感した。			
	1-222	222P (120分)	172-209	2011/11/22 00:38:38
ちゃむ ☆☆☆☆	結果論からの批判だなと感じた。確かに指摘されているように読んで何かためになったという印象はないが、こういう文章を読んでいて「それは違うんじゃない？」と自分の思っていることが反論として再確認できるという意味では読むに値しない本なんてないと思ふ。ただ、5章に書かれていることは自分の考えている概念と合っていて、この著者にはこの提案を投げかけるだけでなく、実行できるように考え続けてほしい。			
	1-221	221P (120分)	第5章	2011/11/15 15:01:10
あき ☆☆	官僚を辞めた人が書いた、官僚の体質批判の本なのでもっと目新しいことが書いてあるかと思えば、今まで世間で言われていたことと大して変わらない。			
	1-41,110-170	102P (80分)		2011/11/02 10:41:43
	読むだけ無駄。			

坂本さん ☆	<p>で終わりたいが、これではレビューの意味が無いので一言。まず、筆者の言っていることが無茶苦茶。コトが起きてしまった後で「あそこああすればよかったんだよ」と偉そうに言っている印象を受けた。他にも言いたいことはあるけど、この人とは議論したくないなと思ったことを書いておきましょう。</p>		
	1-221	221P (120分)	2011/10/25 19:35:47

嫌好法師 ☆☆☆☆	<p>気持ちのよい一冊。</p> <p>むろん、官僚の実態がそうなのではなく、彼の思い切りのよさ、文のリズム、話の展開という意味で。</p> <p>サクッと読めます。軽快です。</p> <p>この手の新書を形容するにふさわしい言葉ではありませんが、そうなのです。そして、読み終えて気づきます。「日本にはこの軽快さが足りないんだろうな…」と。</p> <p>内容は各自お確かめください。正しいかどうか、僕は判断しかねますので。ただ、一読をおすすめします。</p>		
	1-222ページ	222P (100分)	56-59 2011/10/11 22:01:04

R2D2 ☆☆☆	<p>日本の政治には闇がある。すなわち私たちが政治的問題を理解することを妨げるもの。どうやら官僚と政治家のギクシャクにヒントがありそうだ。</p> <p>裏金問題や癒着、官僚の墮落に迫る筆者の仕事への責任感は鬼気迫るもの！自分が官僚になったつもりで読んでいって、まるで冒険譚のように錯覚するような場面もあった。</p> <p>途中から読み進めると幾分か冷静に読むことができ、息もつかせないほどに鋭い正義感の官僚としての筆者の姿が浮かんだ。現代日本の政治についての理解が深まるとともに、起こせる行動の少なさに少しさびしい気持ちでした。</p>		
	1-222ページ	222P (120分)	87-98ページ 2011/10/04 01:02:54

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

何かのために sengoku38の告白

著者名	一色正春	発行年	2011年
出版社名	朝日新聞出版	ページ数	214ページ
値段	1,000円	ISBN	978-4023309203
コメント	尖閣ビデオ流出。職を賭してまで、なぜそんなことを？ 「私がやらねば、このまま日本はダメになってしまう」——迷いつつも踏み切った海上保安官の思いのたけが、無骨な言葉で訥々と語られます。 大げさでヒーローぶった気負いも、技巧的で華麗なレトリックもない。ひとつひとつの論点が自前でこつこつ組み立てられ、ああものを考えて、それを行動に移すって、こういうことなんだと、しずかに深く胸にしみてきます。行動した男の説得力。受け入れた妻の信頼。この国を支える人たちのかたちです。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
アカシア ☆☆	海猿で海上保安庁なんとなく知っていたつもりだったが、これを読んでみて複雑な現実について知った。 海の上というのは陸の上より自由であるように思えるがむしろ国と国との争いの場であり、それは過去から続いてきた難しい問題なんだと気付かされた。			
	1-60	60P (80分)		2012/02/14 01:39:20
こはる ☆☆☆	うーん…。漠然と怖い。 どうしてsengoku38にしたんだろう。			
	1-214	214P (240分)		2012/02/13 08:52:19
カンコーヒ ☆☆☆☆☆	こういう本を読みたかった、という感触。 尖閣諸島の問題は非常に難しいらしいが、領土問題というのは重要なので、政府には毅然として臨んでもらいたい。			
	1-80	80P (120分)		2012/02/09 14:47:39
わぐなりあ ☆☆☆☆	単純にどんな人物なのか興味をもったので読むことにした。 著者には失礼であるが、読んでみると自分が想像していたよりもはるかに国家のことを考えて行動に踏み切ったのだと分かった。 中国に屈してはならない、という態度が少々鼻につくが、この流出事件が起きた際「なぜ映像が国家機密として扱われたのか」について十分な議論が報道から出ておらず、それを問題にしていることに関しては同感。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

	48-196	148P (50分)		2012/02/02 00:22:51
Nob ☆☆☆	<p>あの事件の真相。</p> <p>色々と考えさせられました。</p> <p>公務員のあり方、対中国、諸外国問題など。 今のままでいいのか、、、</p> <p>あの流出の裏にこんな熱い思いがこめられてたとは、知らなかった。 単なる流出の以上の意味があるのは疑い様がありません。</p> <p>ただ、表現がわかりづらいところや書き方が回りくどかったりするところがあり、そこは残念でした。でも、言いたい事はすごく良く伝わりました。</p>			
	1-214	214P (180分)		2012/01/23 00:46:46
アップルジョン ☆☆☆	<p>全部読んだほうがいいなとも思ったけど時間がなかった。 あまり自分も日本人なんだという自覚のない人間。 東工大に入り留学生がいて、将来有望だろう僕らはこれからどんどん海外と絡んでいこう。 そこに少なからず必要とされる日本人としてのプライド。 まずはそこに対する自覚からなのかもしれない。</p>			
	1-76	76P (30分)		2012/01/17 01:07:06
R2D2 ☆☆☆☆	<p>中国漁船の衝突映像流出に関する、事件の首謀者の独白書です。 尖閣諸島が歴史的、政治的に確実に日本の領土であること、映像から即座に確認できる事実からだけでも<刑法、漁業法、外国人漁業の規制に関する法律>など、複数の適切な刑罰を与える根拠が揃うということ、これを下手な外交政治が大いにゆがめた可能性が高いこと、メディアがメッセージをくみ取れず政治家などの矮小化された解釈に応じたことなどを、訥々と語っています。 領土・国民・主権は国家の三要素である、というのは高校政治・経済の授業で習う基本的な知識ですが、これが現外交上の大問題を前にして線引きがあいまいなのは私も不安に思います。</p>			
	1-80ページ	80P (50分)		2011/11/24 22:47:21
タワー ☆☆☆	<p>どうしてあんな動画をネットに流したのかsengoku38の気持ちや考えが記されている。 問題が発覚した日の心情や行動が描かれていて興味深かった。 関係ない話も含まれているので飛ばし飛ばし読むのがいいかも</p>			
	1-47	47P (20分)	9-12	2011/11/15 12:53:40
ちゃむ ☆☆☆☆	<p>読み始める前、私は映像を公開したのはヒーロー気取りの若者とか愉快犯かだと思っていたひとりだった。でも実際は筆者は「秘密はよくない。国民は『事実』を知るべきだ」という考えではなく、「国民は『真実』を知るべきだ」と考えていたのかもしれないと思った。漠然と受けた印象で、うまく言い表せないが、この僅差の違いはその事柄の捉え方を180度変えてしまう。またこの事件を通し、事件の捉え方について、背景のマスコミの問題も考えさせられる。冒頭に述べた、私が描いていた犯人像についてもマスコミの影響を受けているし、筆者も完全に自分が見聞きした情報ばかりではないだろう。 いろいろ考えさせられた。真実は考え続けなければ見えてこない。</p>			
	1-214	214P (105分)	129-134,137,147,211	2011/10/16 22:03:50
てでい ☆	<p>尖閣ビデオを流出させた人の著書。 ビデオ流出前後の心境、著者の信念等が書かれている。</p> <p>共感出来れば違ふのだろうが、 私は著者にあまり賛同できないため 読み進めるのが辛かった笑</p>			

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

これからの「正義」の話をしよう

著者名	マイケル・サンデル	発行年	2010年
出版社名	早川書房	ページ数	380ページ
値段	2,300円	ISBN	978-4152091314
コメント	大ブームとなった哲学書。 破綻した銀行に公的補助は必要? のような事例から、ベンサムやらロールズやら、判断のよりどころとなる思考体系へといざなってゆく手法が絶妙。哲学の高い峯のはずなのに、名案内人のおかげでするする登れてしまう、みたいな。 がっつり取り組んでも実りは多いけれど、ここは濫読道場。 ぱっと開いて具体的な事例を探す →自分だったらどう判断するか30秒だけ考える →解説を読んで自分は功利主義者かリバタリアンか判断するというつまみ食い法も有効です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
aya ☆☆☆☆	ためになった! 翻訳物だし読みにくいところもあるけど、 物事にはいろんな見方があって、自分で主体的に考えなきゃいけないんだなって思った。			
	1-32,340-345	38P (15分)	9-18	2012/02/23 19:19:00
カンコーヒ ☆☆☆☆	かなり面白いんだけど、意味分らない部分もあった。 電車で轢かれそうな人を助ける話とか。共感できない。 功利主義ってアメリカっぽい。			
	1-250	250P (300分)		2012/02/09 14:50:21
ただ ☆☆☆	飽きる			
	1-50	50P (30分)		2012/02/04 02:19:38
あああああ ☆☆	あまりレビューがよくないこの本。 思い切って読んでみました。 結果・・・ 挫折しました。 僕にはテレビのほうが向いているようです。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフ
ィール

掲示板

	1-77	77P (70分)		2012/01/24 02:02:25
らびっと ☆☆☆☆	読むのに時間がかかり、自分と違う正義について理解するのが難しかった。 ただ、いろいろな正義の在り方について漠然とわかったのは良かった。			
	1-380	380P (600分)		2012/01/10 10:38:58
あき ☆☆☆☆	なんとなく字だけ追っていると読むのが辛くなってくるが、サンデル先生が話してると読んでばすんわり読める。 個人的にはカントとロールズのところが好きです。			
	1-77,136-216,315-345	189P (150分)		2012/01/07 12:00:15
ながーる ☆☆☆☆	何年前から読んでるんだろうか じっくり読み進めて、やっと第9章です			
	気が向いたら読んでいたのですが、読むたびに新しい考え方に巡りあえて、私は好きです。 現実から離れて、この本の議題について考えていると、気が休まります			
R2D2 ☆☆☆☆☆	哲学者ごとに中心に扱っているテーマが違うので、ぜひ目次の中から目についたものだけでもいいので読んでみることをおすすめします。読んで損はないと思います。私の場合は、カントについては個人的に感銘を受ける所があって、わざわざ『道徳形而上学原論(岩波文庫)』とかいう本を読んだくらいでした。(さっぱりわかりませんでした……)			
	<p>難しい本で、もっと読むのには時間がかかっていると思います。普段聞かない単語が毎回解説をはさみながら語られる、非常に読みづらい部類の本でした。これで流行ったというのだから、なにが理由があるのだろうと思って暫く買わずにいたのですが、誰もが話題にすらあげなくなったのを見て、更に不思議に興味湧いたので、4月に思い切ってテキストと一緒に買ってしまいました。</p> <p>もしもサンデル教授の講義に直接参加していたとしても、全然ついていけず、発言などもってのほかだと感じました。この話に今後参加できるかすら怪しいかもしれません。その理由を暫く考えたのですが、私達が日本語で言うところの広義の哲学ではなく、サンデル教授らは正統な哲学を語っているのだろう、そのように考えました。哲学の正史はギリシアなど古典哲学から英独仏を始めとするキリスト教圏ヨーロッパに貫通して積み上げられてきたものであって、東洋の現代へ不連続な「古代の知恵」とは違って、歴史的な論争を通して組み上げられてきた哲学をベースに語られるべきものなのだと思います。</p> <p>この教授がハーバード大学で人気だったのには、政治・経済的問題を例示して、コテコテの西洋哲学が現代社会に通用する生きた哲学のベースであることを問うたからだだと思います。日本でブームになったのも、この挑戦的取組への期待があったからでしょうか。</p> <p>日本の高校で教えられる倫理学や岩波文庫などから出ている訳書がこの本を読むために直接通用するならいいのですが、現に上手くいかないで、日本語で西洋の哲学を語ることへの限界を感じます。</p>			
	1-380ページ	380P (300分)	136-168ページ	2011/11/05 15:08:27
pig(∞∞) ☆☆	なかなか読み進められない本でした。 おもしろいところもあったけど、 微妙なところも多く、読んでいて飽きてしまいました。 読もうと思っているひとには、私もつまみ食いをお勧めします。			
	1-345	200P (360分)		2011/10/22 13:41:37
	正直、通読するのは面倒です。すごく時間がかかってしまいました。一通り読みたいと思われるなら、これを読むより白熱教室の講義風景を文字起こしたバージョンをお勧めします。あまりに単調で説明的でサンデルのよさがあまり伝わってこない！だって、NHKで放映されていた白熱教室は面白かったじゃないですか。			

嫌好法師
☆☆

内容としては、いわゆる西洋哲学を丁寧、あくまで表面的に説明した印象。だけどそれこそが退屈さの所以かもしれない…と思いました。

哲学の入門書にあたる本で良書はたくさんあるので、ある程度そういった流れ(?)的なものを知っておくと、取り上げられている議論の面白さがわかるような気がします。とにかく、一般書としては、中身が薄い割に重いという印象。まじょさんのコメントのようなつまみ食いをお勧めします！

1-380ページ

380P (500分)

74-77

2011/10/11 22:41:06

[TOP](#)へ

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

超訳 ニーチェ

著者名	フリードリッヒ・ニーチェ	発行年	2010年
出版社名	ディスカヴァー・トゥエンティワン	ページ数	232ページ
値段	1,785円	ISBN	978-4887597860
コメント	ページからページへ、哲人の遺した232のメッセージを旅するうちにどこかで「ヤラレタ」とうならされる言葉に出会えるはずで、きっと。 ヤマムロの「ヤラレタ」ポイントは40ページでした。ぐさり。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			投稿時間
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	
なっちゃん ☆☆☆☆	たった数行だけどいろいろ考えさせられるし納得できる 1冊買っておきたいです			2012/02/15 00:08:10
	1-232	232P (80分)		
ただ ☆☆☆☆	俺の知ってるニーチェとちげえええええええええって感じ。 激熱なおっさんじゃんニーチェ！ すぐ読んで忘れるのはあれだなこれは。買ってふとした時に読むほうがいい気がするよねうん			2012/02/04 02:18:11
	1-232	232P (200分)		
専務 ☆☆☆☆	何かに悩んだり、ぶつかったりした時 立ち止って読みたい本。 きっと前に進めるはず！！			2012/01/31 21:54:03
	all	232P (30分)		
アップルジョン ☆☆☆	でもなあ、とか、たしかにそうだけどさって考えてしまうことは多かった。 でも、これだけ難しいことをほんの数行で納得させられるって考えれば、すごい本なんだな。売れるわ。			2012/01/30 01:21:53
	all	232P (90分)		

ながーる ☆☆☆☆☆	ニーチェばかりに良いこと言わせてられない！！ お気に入り「いつかは死ぬのだから」		
	1-232	232P (30分)	己について 2012/01/24 12:31:17

ボールボーイ ☆☆☆	深い言葉がたくさんありました。ニーチェさすがです。		
	1-232	232P (120分)	2012/01/22 16:35:37

pig(・∞・) ☆☆☆☆	短くまとめてあるので、さらっと読めました。 ニーチェってほかの哲学者に比べてなんか親しみやすい気がしました。 ぱらぱら見て気になる言葉の解説を読んでもいいと思います。 気に入った言葉↓ 021 努力を続ける 040 少しも悔いのない生き方を 062 おじけづいたら負け		
	1-232	232P (120分)	2012/01/22 11:29:54

Nob ☆☆☆☆	すごく勉強になった。 ニーチェ凄い！ 100年以上も前に生きた人の言葉なのに、現代を生きる僕たちにとっても当てはまる事を言っている。科学は進歩して、世界が変わっても、変わってないものがあることがわかった。むしろ、人間として一番大切なところは、時代が変わっても変わらないみたい。 是非、一読を！		
	1-131	131P (90分)	2012/01/18 10:48:13

あああああ ☆☆☆	「あらゆる人から好かれなくていい」 というのが印象的だった。 僕は八方美人なところがあるので 何かが変わった気がした。		
	1-232	232P (120分)	2012/01/10 19:40:22

ちゃむ ☆☆☆☆☆	はっとするような言葉が数多くあるなと思うと同時に、百年以上も前の言葉が現代で死んでいないことに驚いた。 「神は死んだ」という言葉に表されるように、宗教で隠されてしまっている人間の本质をニーチェは見ていたのではと思いを馳せた。 深く納得し、もっと考えたいと思った言葉は59の「平等の欲望」。平等には、他の人を下げようという欲望と自分を引き上げようという欲望が隠されている。 最近声高々に格差是正がうたわれていて、自分が賛成はできるけどどこか嫌悪感をおぼえたのは、この他の人を下げようという平等の種類だったからかもしれない。		
	もうひとつ。134の「人をはずかしめることは悪だ」。 そういうこととはずかしいよ、と言われたときじゃあ恥ずかしくなければいいのかと思った覚えがあるが、本質的にそれは悪だからダメだったのかと思うと納得できる。		

	心に留めたい・納得した言葉：25,35,78,79,110,120,129 もう一度読みたい言葉：9,20,37,40,51,104,109,113,119,125,161,172,179,183,188,232 考えたい言葉：66,69,91,219			
	1-232	232P (80分)		2012/01/08 22:44:11
あき ☆☆☆	良かったけど、あまり急いで読む本でもないかな、という印象でした。1週間に2、3ページぐらいのゆっくりペースで読んで、考えたほうがずっと楽しめる気がしました。			
	1-232	232P (100分)		2012/01/07 11:46:52
てい ☆☆☆☆	ニーチェまじかっけーっす 幸せに生きる上でのヒントをもらいました ニーチェありがとう！ ただ、こんだけの名言があれば、どこかに矛盾した2組のことももあるかもって思った。これから読む人、ぜひ探してみてください。			
	1-232	232P (120分)	161	2012/01/05 01:37:13
こはる ☆☆☆	たぶん今まで難しい言葉でしか訳されていなかったであろう言葉たちがとてもわかりやすく、私たちに浸透しやすい言葉で書かれている。なんとなく落ち込んでる時に読んでみるといいかも。おうちで一人で向き合って詠みたい。			
	1-232	232P (100分)	ぱっと開いたところ	2011/12/09 14:34:32
Albert ☆☆☆☆	初ニーチェ。 哲学というより自己啓発に近い本。「超訳」だけあってわかりやすいです。 印象的な言葉は（いろいろあるが）、012の「自分を遠くから見てみる」ということ。観察する距離の差という視点が新しいと思いました。 一回では全部を理解することはできないため、印象に残った本は、繰り返し読むという信条ですが、この本は特にそう思いました。買っちゃおうかなー。			
	1-232	232P (130分)	012,045,050,063,076,079,101,127,137,157,190,201,210	2011/11/26 21:00:47
サーフ ☆☆☆☆	“勝つならなら圧倒的に勝て” …この言葉好き！			
	1~232	232P (30分)		2011/11/24 21:49:34
坂本さん ☆☆	これを読むくらいならニーチェの著作を当たった方がいいと思う。言葉をこまぎれにできてしまっていて、これは本当にニーチェの言葉何だろうかと思ってしまった。 定番ならツアラトストラ、ギリシャ神話が好きななら悲劇の誕生辺りが面白いだろう。 自分の好きな言葉「夜は深い、昼が思っているよりさらに深い」（だったかな）が載ってなくてがっかりした。			
	1-232	232P (60分)		2011/11/22 13:11:36
	一休みしたいとき、気持ちを整理したいときに読んでみると心がスッキリします。			

アニマル ☆☆☆	1-232	232P (90分)	なし	2011/11/01 23:15:40
らびっと ☆☆☆☆	ニーチェがめっさ励ましてくれる。 たまにはこういう本も悪くない。			
	232	232P (60分)	気になる題のどこ	2011/10/31 12:58:18
じん ☆☆☆	様々なことを考え始めたり考え直したりするのに、いいきっかけを与えてくれる本だと思います。			
	1-232	232P (120分)	p4,p20,p43	2011/10/10 22:43:11
てでい ☆☆☆	すごく納得させられる言葉の数々。 自分探しの背中を押してくれるような文章が続いています。 読書に疲れた時にさらっと読むのが良いかも。 項目ごとに分かれているからちょっとだけつまみ読みもしやすいかな♪			
	1-232	232P (50分)	p15,p59,p69,p160,	2011/10/06 04:06:40

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

アダム・スミス

著者名	瞠目卓生	発行年	2008年
出版社名	中公新書	ページ数	283ページ
値段	880円	ISBN	978-4121019363
コメント	<p>今さらアダム・スミス？ そう、今だからアダム・スミス。 ご存知「神の見えざる手」は決してメカニカルな自由競争システム礼賛ではなくて、人間と社会に対する深い信頼と洞察に裏うちされたものなのだと、コチコチの古典をゆっくりじっくり吟味しながら、スミスの意図の深奥へと錘が下ろされてゆきます。 『国富論』の陰に『道徳感情論』あり。 経済イコールお金の動き、そんなカサついた先入観が、いつしかやんわり溶かされて、堅苦しい学問のお話なのに、心なごんでしまう不可思議さ。 ただし！ 濫読にはとてもとても不向きです。叡智の女神は根気よく扉を叩く者にしか微笑みません、少なくともこの本の場合は。</p>		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
なっちゃん ☆☆	堅苦しそうなお本だけど割と読みやすい ただ読みやすくしたせいかあまり内容がなかったかも			
	1-130	130P (50分)		2012/02/14 23:08:38
専務 ☆☆	目次を見てあんまり読む気になれなかった。			
	1-30	30P (10分)		2012/01/31 21:19:26
らびっと ☆☆☆☆	中学生以来の再会「アダム・スミス」。 これはやばい。 ガチの匂いがする。			
	この本、この授業受けてなきゃ絶対読まない。そう思って借りたはいいけど...orz ってことで、先人の知恵（立ち読みポイント）を利用させてもらう。 妄想族さんに敬意を表して、朗読する。			
さすがアダム・スミス、良いこと書いてある。 人間は心の平静のなか、幸せに気づくことが重要なんだって。				
素敵な2ページに巡り会えたことに感謝します。				

	284-285	2P (5分)	284-285	2012/01/31 03:37:20
Albert ☆	<p>流し読み アダム・スミスが国富論を書くにあたって時代背景を理解することができました。 じっくり読む必要がある本ですが、そこまでの興味は残念ながらありません。</p>			
	1-283	283P (25分)		2011/12/22 20:47:17
bakeneko ☆	<p>どうしても内容に興味がなく挫折してしまいました。近代の政治に関わるような問題は、どうしてもめり込めません。いつか嗜好が変わったらまた挑戦してみたいと思います。</p>			
	1-22	32P (20分)		2011/12/15 04:08:14
nodo ☆☆☆☆	<p>内容的には「アダムスミスの中世経済政策に対する批評、の再評価」みたいなものだろうか。 読みやすさはゲーム理論の教科書くらいです。</p>			
	1-40,143-160	50P (60分)		2011/11/24 12:03:49
妄想族 ☆☆☆	<p>国富論や道徳感情論について知らないならば、読んでみると良い。しかし、多少知っているならば少しの発見しかないためそこまでおすすめはしない。</p>			
	269-285	16P (20分)	284-285	2011/11/15 10:42:05

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

使える！経済学の考え方

著者名	小島寛之	発行年	2009年
出版社名	ちくま新書	ページ数	224ページ
値段	777円	ISBN	978-4480065094
コメント	ハルサーニの定理がやっと分かったよと某ゲーム理論家の先生。山室はアマルティア・センに少し近づけた気が。そんなふう巨人たちのエッセンスをコンパクトに届けてくれる一話完結入門講義の赴きです。「法哲学」のおともにも最適。 例題、解いてみる？「ピッチャー1杯分のビールを、形の異なるグラスを持ったn人に公平に分けるには？」早くしないと泡が消えちゃうよー。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
カンコーヒ ☆☆☆☆	経済学をやってる友達がいて、 数学教えてーって言われることがあるけど、 こういうことだったのか！ってなった。難しいんだね。			
	1-120	120P (50分)		2012/02/13 11:48:58
nodo ☆☆☆☆☆	面白かった。というか、経済学って実際なにやってんの？という普段からの僕の疑問に少なからず 答えてくれた。読んで良かったです(▽▽) 唯一欠点があるとすれば、筆者の例え話がとてもヘタクソなことです。笑でも、そこさえ見逃して 頂ければとても面白い本だと思います。d(￣ ￣)			
	1-234	234P (180分)		2012/01/31 18:29:49
こるく ☆☆☆☆	自由、平等、正義とは、、と考えるのは難しい。 このような抽象的な概念にアプローチした、有名な学者の考え方が解説されている。 数式を使っているが、説明がとても分かりやすく、最初の印象よりはるかに読みやすかった。			
	1-224ページ	224P (150分)	145-170ページ	2011/12/06 20:11:20
しろ ☆☆☆☆	「よい社会とは何か？」という問題を数理的な枠組みで思考することがいかに困難であるのかが よくわかった。この思考が今大学で学んでいることに深く結びついていることが実感できた。 経済学を学んでいく上で読んでおいてよかったと思える一冊だった。			
	1-235	235P (120分)	171-203	2011/12/06 11:40:54

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

R2D2 ☆☆☆☆☆	<p>本書は、優れた学者たちが論証してきた理論が、人々の幸福・平等・自由のためのものであること、その正当性を再検証するところに主眼がある、と感じました。「数学的正しさ」に着目して正当性を平易に説明しているところが、素晴らしいと思いました。</p> <p>この本は経済学の本来の目標を知るための、(あるいは誤った権威付けや経済学への誤解を解くための、)正しい入門書として考えることが出来るのではないかな、と思いました。</p>		
	1-24ページ	224P (160分)	2011/12/02 11:50:08
わぐなりあ ☆☆☆☆	<p>経済学の本としてはかなり読みやすい。数式などはざっと読むだけでも文章を読めば内容的を理解することができる。ミクロ経済学、統計学などを学ぶのに、はじめにこの本を読むことはとても良いと思う。</p>		
	1-144、205-230	169P (90分)	2011/11/21 13:51:06
ながーる ☆☆☆	<p>あまりすらすら頭に入って来なかったけど、経済学ちつくな感覚と数式との関連をなんとなくわかったような気になりました！</p>		
	1-235	235P (120分)	2011/11/20 22:19:05
坂本さん ☆☆☆	<p>様々な経済学者の理論や主張の内容を簡潔に書いてある。これをもとに気になった学者の著者の本を当たってみるとよいだろう。</p>		
	1-235	235P (120分)	2011/10/25 15:58:32
片道1.5時間 ☆☆☆	<p>経済学といってもマクロとかミクロとかケインズとかではなく、人間の行動を数学モデルで説明するという経済学的アプローチそのものについて書かれている。</p> <p>説明はとても親切でわかりやすいが、すごく面白くてエキサイティングだとは言えない(単に私がこの分野にあまり興味がないからかもしれない)。</p> <p>経済学というのが金の動きだけを扱う学問だと思っている人は読んでみるといいかも。</p> <p>あと、タイトルに『使える!』とあるが、何に使えるというのかよくわからない。ちくま新書からは『使える○○』と冠した本が他にもいくつか出ているから、たぶんアホな編集者が内容を考えずにつけたタイトルだろう。</p>		
	1-120	120P (45分)	2011/10/24 18:07:55
Albert ☆☆☆	<p>経済学について、知識がない人のためにわかりやすく、説明されています。</p> <p>平等、公平、幸福などといった抽象的な概念を数値化し、数学により論理的に説明していくのが面白いです。</p> <p>しかしながら、実際の社会がこの経済学通りに動かないのはなぜかという疑問については解決されておらず、完成された物理学などとは異なり、経済学はまだ発展途上であり、仮説段階の学問であると思いました。</p>		
	1-235	235P (100分)	62-85ページ 2011/10/06 22:00:57

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

競争と公平感

著者名	大竹文雄	発行年	2010年
出版社名	中公新書	ページ数	245ページ
値段	780円	ISBN	978-4121020451
コメント	何を以て「公平」と認定しますか？ 社会が大きく壊れてしまった3・11以後、この問いはとても切実に響きます。 職業や賃金は能力に応じるのが公平？でも、努力と能力は比例しないわけだから、がんばっても低賃金、怠けても高賃金になっちゃうけど、それでOK？ 諸外国と日本との価値観の違いなど、データをもとにたくさんの問題の切り口を提示してくれます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
カンコーヒ ☆☆☆☆☆	少ししか読んでないが、とても興味深い。 日本人は競争が嫌いか…			
	1-100	100P (60分)		2012/02/15 01:26:25
坂本さん ☆☆☆☆☆	男女の賃金格差、格差・貧困問題など近年日本の社会で問題視されているトピックについて、経済学の視点にたつて研究の例などを紹介しつつ分析している。個人的にはタイトルと内容が一致していない様な印象を受けた。市場経済における競争と公平感についての本というより、現在の社会問題についてメディアで取り上げられているような「一般的」な見方とはまた違う視点から考えるように促す本というのが私のこの本に対する印象だ。 私は「男女の賃金格差は性差別のせい」「最低賃金を上げれば貧困問題は解決する」と思っていたのでこの本で「男女の間で賃金に差があるのは、男性のほうが女性より競争を好むから」「最低賃金を上げると未熟練労働者にしわ寄せがいく」ということを知って軽いショックを受けた。物事多角的に考えねばならないことを実感した。 また、ある命題だ真か偽かを議論するにあたって結論が真っ向から対立する研究結果が数多く存在することも印象的だった。複雑な社会で白黒はっきりつけるのは大変なんだな…			
	1-245	245P (180分)		2011/11/23 23:35:13
妄想族 ☆☆☆	うーん、自分はこの人と違うかなと思ってしまった。 確かに現在ではお金ありきの世界になっているのは確かだが、お金がなくちゃ生活できないわけではないし、世界が滅亡するわけでもない。現在でも物々交換でやっている地域はある。 少し意見を強要されてる気がした。			
	219-233	15P (10分)		2011/11/22 08:57:01

<p>R2D2 ☆☆☆☆</p>	<p>エライ学者が書いた古典的な経済の理論と、日本の経済政策へのイメージとを結びつけて考えるのがほとんどはじめてだったので、それだけでも、今のところ読んだ価値があるかも？ 直感的には、日本の市場主義は、一部の特権階級の利益のためにあるように思えるのだけれど、本来どうあるべきで、誰が正すべきかなど、言及される細かい話が興味深い。「市場主義と大企業主義の区別をつけよ」というのには、なるほど、と感じました。</p>	<p>1-245ページ</p>	<p>245P (160分)</p>	<p>13-24ページ 2011/11/09 00:57:18</p>
<p>わぐなりあ ☆☆</p>	<p>題名からはとっつきにくそうな印象を受けるが、簡潔な文章で書かれており内容は把握しやすい。ただし様々な研究データが提示されるものの筆者自身の主張は各単元の最後の数行で述べられているにとどまっている。また「市場経済の本当のメリット」という副題がつけられているが、結局本当のメリットは何なのか読み取ることができなかった。 よって目次を見て気になった見出しのページだけを読むのも一考であると思う。</p>	<p>79-233ページ</p>	<p>155P (60分)</p>	<p>2011/11/06 12:56:46</p>
<p>あき ☆☆</p>	<p>市場主義というものについて、初めてきちんと説明された気がしました。ただ、なんだか押しが強くて拒絶したくなってしまふ。私としては市場主義がイヤというより、市場主義を勤めてくる人の押しの強さがイヤ。 ジェンダー関連の話のところは社会学の専門の人が見たら怒るんじゃないかと思ってしまう。</p>	<p>1-245</p>	<p>245P (120分)</p>	<p>2011/10/26 14:35:00</p>
<p>bakeneko ☆☆</p>	<p>制度・政策の妥当性を経済学の見地から検証した著作で、『競争と公平感』というシンプルなタイトルではありますが、正確には『(市場)競争と(市場の)公平感』といったような内容の本でした(もちろん市場にかぎった内容ではありませんでしたが、比重として)。読み始める前までは、各個人の心理の動きを分析した本だと思いこんでいたために、若干肩透かしを感じてしまいました。 経済学といえば、現実と乖離していたりモデルが杜撰だったり、所詮有用には堪えない印象が正直強くあったのですが、それもかなり改善されてきているのがよく伝わってきました。ただし用いられている具体例が豊富なぶん、(おそらく敢えてのことだとは思いますが)各実験の妥当性の検証がほぼ省かれていたのが少々残念です。代わりに章末毎に参考論文がすべて羅列してありはしたのですが、いちいち確認するのは一読者としては難しいですね。そんなふうには検証を面倒がってはいけないうちのかもしれないかもしれませんが。 ただし本著の性格を別にしても、そもそも経済学の実験というのは再現性が低いように思われるので、そういう点はやはり説得力に欠けてしまう部分だと感じられます。それでも既存の制度が妥当でないという言及には十分な説得力がありましたが、代用とする制度が本当に理論通りに働くか否かという点は、ちょっと議論が脆いのではないのでしょうか(それでもあえて代替案を提示している点については、その潔さに大変好感が持てましたが)。 とはいえ、複雑な現代社会において、具体的な数値をもとに政策・制度の指針を打ち出していける経済学は、今後ますます重要な学問になると納得させられました。情報開示が進み生データを誰でも閲覧できるようになれば、さらに発達していきだろうと非常に期待させられました。</p>	<p>1-233</p>	<p>233P (150分)</p>	<p>219-211 2011/10/13 06:05:47</p>

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフ
ィール

掲示板

経済は感情で動く

著者名	マッテオ・モッテルリーニ	発行年	2008年
出版社名	紀伊國屋書店	ページ数	302ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4314010474
コメント	イタリア仕込みの行動経済学。話題はほかの本ともかぶるけど、トピックごとにいていねいに解説してあるのがメリット。 楽しい実験例が豊富なので、ついつい呑み会などで話したくなるけれど、度が過ぎてウザがられないように。これを「後悔回避 regret aversion」と申します。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
カンコーヒ ☆☆☆☆	「予想通りに不合理」のやつより切れてない本。 行動経済学ってある実験から普遍を導きすぎじゃない？			
	1-120	120P (200分)		2012/02/13 14:28:01
こはる ☆☆☆	もう少し要約してほしい！長い！でもわかりやすそう。			
	1-60	60P (50分)		2012/02/13 09:08:43
タワー ☆☆☆☆	実験が豊富で内容は分かりやすい。ただ実験がありすぎて早く先進んでくれーと思うこともあった。 時間ない人にはあまりおすすめしません			
	1-302	302P (150分)	章末	2012/02/02 22:03:49
いち ☆☆☆	おもしろいけど中身だらだらしてて読みづらい。流し読みで「ふーん」てなればいいんじゃないですか？			
	1-302	302P (120分)		2012/02/01 16:57:04
妄想族 ☆☆☆☆	人間(自分)の脳って馬鹿だな。ってなるほど面白い実験がたくさんありました。 自分がしていた今までのエラーを知れたのでよかったです。 エラーを知りたい方はぜひどうぞ！			

	1-302	302P (150分)	88-	2012/01/24 12:51:32
てい ☆☆☆☆☆	<p>日常に起こっている現象を分析するのっておもしろい！ 自分もいろいろだまされていることに気づかされました。</p>			
	1-136	136P (60分)		2012/01/10 13:02:31
ながーる ☆☆☆	<p>例題があつて解説みたいなかんじが無限ループで途中で疲れてしまいました。つまみぐい向けかもしれないです。</p>			
	1-135	135P (100分)		2011/12/06 10:02:34
嫌好法師 ☆☆☆	<p>先に「予想どおりに不合理」を読んだ直後に読んだのでどうしても比べちゃうんですが、ちょっと退屈に感じました。行動経済学をやってるんだから、他の数多ある行動経済学の書籍と比較されることも考えてみてほしかった(笑)っていうとめっちゃめっちゃ辛口ですが、用語の解説が一つあたり半ページほど割いてあつて、しっかり知識として身につけると言う意味では良書かも。所謂「つまみ食い」本ですね！</p>			
	1-302	302P (150分)	128-133	2011/11/04 09:55:44
坂本さん ☆☆☆	<p>具体例（実験）を多く使っていて分かりやすかった。一方文章の展開がワンパターンで飽きやすい。1章読んで他の章の章末のまとめを読めば十分楽しめる。</p>			
	1-305	305P (180分)		2011/10/25 13:15:33
てでい ☆☆☆☆☆	<p>なかなか切り口が面白い。 中に取り上げられる例も身近な例で面白い。 様々な理論やキーワードの注釈も細かくて興味深い。 ただ全てをさらって読もうとするとかなりの時間を要する。 また、形式が一貫しているのは良いのだが、 それゆえに形式に飽きる。 ゆっくりと時間をかけて少しづつ読むことをお勧めする。</p>			
	1-302	302P (190分)	各パートの最後にある 教訓	2011/10/13 22:49:36

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

経済は〈格付け〉で動く

著者名	黒沢 義孝	発行年	2011年
出版社名	中経出版	ページ数	254ページ
値段	1,575円	ISBN	978-4806141402
コメント	日本国債が格下げされたら、それってつまり世界中の国が日本のことを信頼できなくなるってこと。こいつ借金踏み倒すかもって思われているってこと。 「じゃあ日本は大丈夫なの？」と心配になってしまったら、p54にご説明が。 タイトルに既視感があるのは御愛嬌。バクリだよね、これ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
わぐなりあ ☆☆☆	本を開いた瞬間「文字が大きくて読みやすそう！」と思ったものの、読んでみるとやっぱり頭が痛くなるような内容。ただ日本国債が格下げされたことは記憶に新しく、経済を知る上でタイムリーな本であると思う。			
	1-132	132P (45分)		2012/02/14 00:05:54
いち ☆☆☆☆	「格付け」という言葉はよく耳にするものの、その影響力や実態がつかめていなかったがだいたいわかるようになった。知らなきゃならない内容だと思うのでとりあえず読んでおいたほうがいいと思います。			
	1-254	254P (100分)		2012/02/01 16:55:30
R2D2 ☆☆☆☆	債務不履行のリスクを評価するためにはコストが掛かる。そのコストを持って、起債者から格付け料を徴収することで商売をするのが格付け会社の仕事だ。 米ドルがなぜ債務不履行しないか、日本国債の格下げが意味するのは何なのか、<格付け>とは何かから始めてよくわかった。			
	1-254ページ	254P (70分)		2012/01/30 12:55:31
アップルジョン ☆	題名通り内容がかたい。 正直苦手・・・ 成人したんだから、こういうのも読むようにしたいっていう願望は少なからず (笑)			
	1 - 51	51P (8分)		2012/01/17 00:53:04

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

<p>タワー ☆☆☆☆</p>	<p>難しい内容でしたが、分かりやすく書かれていて何とか読みました。 ニュースでやってることの意味が分かりました。 日本は意外に大丈夫だとしました</p>	<p>1-132</p>	<p>132P (50分)</p>	<p>62-64 2011/11/29 12:56:21</p>
<p>Albert ☆☆☆☆</p>	<p>ニュースで「格付け引き下げ」の表現を聞くものの、どのようなもので、どのような影響を及ぼすものかは知りませんでした。</p> <p>この本を読んで、格付けは何かということを理解できました。しかし、サブプライムローンの証券トリックのように人々が購入しやすいように格付けをあげる場合も存在するので、それだけでリスクを絶対的に把握できる指標でないと思いました。</p>	<p>1-254</p>	<p>254P (75分)</p>	<p>184-205 2011/11/21 21:09:38</p>
<p>あき ☆☆☆</p>	<p>最初の方は読みやすくわかりやすかったが、だんだん良くわからない単語が出てくる上に教科書っぽくなってきて内容がよくわからなかった。巻末に単語の意味でもまとめて載せておいてくれると経済学初心者には助かります・・・。</p>	<p>1-105,134-181</p>	<p>153P (80分)</p>	<p>47-51 2011/11/09 20:45:58</p>
<p>bakeneko ☆☆☆</p>	<p>格付け会社という、経済畑の人間でない者からすると得体のしれない鶴のようなシステムについて書かれた本で、読書中になにやらずっと騙されているような違和感がありました。別につまらなかつたというわけではなく、格付けがビジネスとして成立することが、自分にとっては非常に斬新なことだったからです。格付け会社の格付け会社の格付け会社の……みたいな屁理屈を言ってしまうたくなりました。</p> <p>しかし読み進めていけば当たり前の話で、これほど複雑な社会における国債の信頼度なんて、それこそ市場の一般投資家に読み解けるはずもなく。代わりにコストを支払ってでも調査してくれる企業というのは確かに必要不可欠であるなど納得できました（いまいち違和感自体は抜けませんでした）。納得が進むと具体例が欲しくなるところですが、実際に本書では米国債やギリシャ危機における格付けの影響の大きさを丁寧に紹介してくれており、かゆいところに手が届くよい本だと思いました。</p> <p>ただ専門用語が多く、途中だけをパラ読みしたり、毎日少しずつ読み進めていく本としては、多少不適切に感じられました。</p>	<p>1-254</p>	<p>254P (120分)</p>	<p>93-105 2011/11/03 14:39:22</p>
<p>Nob ☆☆☆☆</p>	<p>私はこの本を読むまで、格付けとゆうものをよく知りませんでした。何となく、経済系の本とゆう事で、読んでみました。</p> <p>内容は、とても分かりやすく、読みやすいと思います。 新しい事を知る事が出来、凄く、勉強になった気がします。</p>	<p>1-254</p>	<p>254P (210分)</p>	<p>2011/11/01 15:13:22</p>
<p>てでい ☆☆☆</p>	<p>勉強になる本です！ さらっと眺めるにはちょっと辛いかも。。。 今、はやりのギリシャ崩壊とかが詳しく解説されてます！ 経済の勉強が深まった来年あたりにもう一度読むと もっと勉強になるのかも。</p> <p>最後まで読み切るのは辛かったー</p>	<p>1-254</p>	<p>254P (160分)</p>	<p>2011/10/24 14:10:15</p>

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

予想どおりに不合理 増補版/不合理だからすべてがうまくいく

著者名	ダン・アリエー	発行年	2008年
出版社名	早川書房	ページ数	314ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4152091666
コメント	小ネタのオンパレード、あたかも回転寿司の如し。 オレってどうしていつも締め切り直前にしか始められないんだろ、とか、ダメカレだからさっさと振っちゃいたいの に、なんで見切りを付けられないのかしらん、とか、日頃のあなたの不合理行動を実験ですっきり証明してみせま す。 なんだ、みんなそうなんだと安心できるかもしれないけれど、だからって問題を解決してくれるわけじゃないのね。 そこが行動経済学のウィーク・ポイントと見た！		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
*^-^) ☆☆☆	いかにも「直訳しました！」っていう部分が多かったのが残念。でも内容は頭に素直に入ってきてくれた。おすすめ。 「私たちがふたつの異なる世界——社会的規範が優勢な世界と、至上規範が規則をつくる世界——に同時に生きている」というのを読んで、すごく納得！！誕生日プレゼントにお金をもらうと何となく悲しい気持ちになるのって、こういうことだったんだ。			
	113-243	130P (60分)	4章	2012/02/14 08:10:28
いち ☆☆☆	行動経済学は経済学なのか？と考えると本です。実験→結果について詳しく書いてあって、言ってることも理解できるんだけどこれは心理学としての実験と結果を書いてあるだけなんじゃないか？と思います。 でもこれから成熟しそうで面白そうですね、行動経済学。			
	1-165	165P (80分)		2012/02/01 17:52:43
ボールボーイ ☆☆☆	せっかく経済のことやっているんだから、思って読みました！！ 授業始まってすぐに読んだので 普段なかなか小説以外読まない自分にとっては ちょっときつかったですが、おもしろかったと思います。 実験ってタイヘンだ。。			
	1-150くらい1	150P (60分)		2012/01/27 18:23:46
	どれもあんな実験結果でした。			

pig(・∞・) ☆☆☆☆	面白かったけど、実験が多すぎて半分くらいで進まなくなりました。 つまみ食いでいいと思います。			
	1-314	314P (300分)		2012/01/22 11:07:16
しゅまり ☆☆☆	すごく興味深いんだけど、だんだん飽きてくる…			
	1-125	125P (90分)		2012/01/17 21:10:04
あき ☆☆☆	<p>いつときの感情に任せた決定が長い間にわり決定に影響を及ぼす、自己ハーディングということには、なるほどーと思った。</p> <p>ただ、こういう行動経済学の実験は、実験が現実にあてはまるかどうかを見極めるのが難しいと感じた。</p>			
	1-74,166-209,338-368	147P (100分)		2012/01/15 18:03:13
タワー ☆☆☆☆	<p>直感的にはしっけていてもほんとにそうなのか？という疑問や考えをいろいろなユニークな実験で確かめている。</p> <p>これを示すためにはこんな実験が必要なのか、と感心しました。</p>			
	1-210	210P (60分)	209	2011/12/13 12:47:12
ちゃむ ☆☆☆☆	<p>ああ、確かに。と当たり前だったり直感的であることを実験を通して明確にまとめている。</p> <p>明確化されていく内容も面白いが、そこにいたる実験のプロセスが特に興味深い。</p> <p>「こういう結果出た。そこからこう考えられないか？じゃあ次はこんな実験をやってみよう！」と知りたい結果に必要な実験を芋づる式にとんとんと進める感じは読んでいて感嘆でき、またそんな感性が欲しいと思った。</p>			
	不合理だからすべてがうまくいく	401P (305分)	230,264	2011/12/09 10:33:53
てい ☆☆☆☆	<p>行動経済学おもしろかった！</p> <p>けど、どれもあんまり予想外の結果ではなく</p> <p>あ、確かに。まる</p> <p>って感じでした←</p> <p>それぞれの章にまとめがあるので、それをはじめに読んでから興味があるところを読むのをオススメしますb</p>			
	1-74,166-209	118P (60分)		2011/11/29 12:52:36
Nob ☆☆☆	<p>少ししか読めなかったけど、なかなか面白かったです。</p> <p>人間の行動について考えるとゆうのは面白いと思いました。そして、それに精通していれば、日常生活でも使える事が多そうだと思います。興味湧きました。</p> <p>ただ、日本語にそのまま訳した感が否めませんでした笑</p>			
	不合理だからすべてがうまくいく 序章、第10章	47P (90分)		2011/11/28 09:57:22
	めっちゃ面白かった。行動経済学に興味わくわく			

ながーる ☆☆☆☆☆	仕事面と生活面に区切られていて、後者から特攻したらハマりました。筆者の実体験には共感が持てるし、思索もあるあるって思ったり。			
	厚い本は重いしな〜と敬遠してたのは不合理 肩凝ったけど、読んで良かった^^			
	9-401	392P (200分)	予想通りに不合理第二部	2011/11/20 22:25:38

カンコーヒ ☆☆☆☆☆	かなり長期間借りっ放しで申し訳ないです。			
	内容はとっても面白かった。ああ確かに「自分のアイデアって最高のアイデアだと思う！」って経験が何度もあったから。			
でも第2部第7章「イケてる？イケてない？」の議論はちょっと詭弁。結局のところ美男美女は依然として、恋人に対しては「見た目がイケてること」だけを求めているって結論？最後だけ美談で締めちゃえば落ち着いたいい文章にはなるけどさ。				
他にも詭弁に踊らされてるのかも。もっともらしい実験結果に目隠しされて。				
	序章、第1部第1,3,4章、第2部第7章	146P (120分)	75-144ページ	2011/11/08 23:44:30

嫌好法師 ☆☆☆☆☆	とても面白い！ コメントがない(11/4時点で)だなんてちょっとびっくりです…。			
	この本が面白いのは、僕自身が行動経済学に興味はありつつもなんの予備知識もないという格好の読者であったこともあるかもしれないが、それにしても奇抜な実験の数々、例示の数々は圧倒的。いやあ、圧巻！マジで。			
何を隠そう、とにかくダン・アリエーが面白い男であることは間違いない。彼自身が不合理に飲まれることを楽しんでいる(そう、彼は決して人々が不合理であることに悲観的ではなく、むしろ純粹な好奇心でもって研究を展開しているのだと想像する)のがひしひしと伝わってくる。彼の著書をもう一冊借りてきてしまったというのが、何よりの証拠である。				
【追記】 「不合理だから全てが上手くいく」も読みましたが、もう表題から開き直っちゃっているじゃないですか、ダン先生。(予想どおり〜読者にとっては)期待を裏切らない内容！				
	1-314ページ	314P (240分)	245-263ページ	2011/11/04 09:38:54